

住民と町が力を合わせて、ともに創るまちを目指し

## 『未来センター会議』はじまる！

住民と町が力を合わせて、ともに創るまち  
『未来センター会議』

## 目的

地域の課題など問題意識を共有し、それぞれの立場からアイデアや考えを出し合い、政策などについて建設的な意見を自由に交換する場として「未来センター会議」を開設し、第2次総合計画で掲げている「自然健康のまち いびがわ」を実現していくことを目的としています。

## 運営

各階層の住民と町職員が一緒になり会議を運営します。会議では地域の課題について住民と町が意見を出し合い、対策を整理するなど住民参加により課題を捉え、町政に具体的に反映することを目指します。

## 進め方

未来センター会議においては、キックオフシンポジウムを皮切りに、住民約50人で気軽に話し合いができるワークショップ方式により意見交換ができる場を開設します。

ワークショップでの意見などは、住民と町職員で構成するワーキンググループにより分類整理され、課題の抽出などを行い、事務連絡会議や運営会議などを経て集約していきます。

お問い合わせ 揖斐川町役場 まちづくり推進室 TEL22-2111

## 『キックオフシンポジウム』を開催しました。

6月10日(土)、揖斐川町地域交流センター「はなもも」で約450人の住民の皆さんが参加し、「未来センター会議」キックオフシンポジウムが開催されました。

有識者である涌井史郎氏から、「揖斐川町のまちのこし戦略」と題して基調講演をしていただいた後、まちづくり活動をしている揖斐川ワンダーピクニック実行委員長の久保田大介氏、小島公民館主事の衣斐淳美氏、春日古<sup>いにしえまな</sup>学び代表の田口龍治氏から、それぞれ活動を報告していただき、パネルディスカッションや参加者との対話集会を行いました。

参加者からは、「身近にある、気付いていない多くの宝物を見つけ、まちづくりを考えていきたい」などの発言があり、町の未来を皆で考えました。



▲涌井史郎氏による基調講演



▲パネルディスカッションのようす